

CFA 日本リジョンクラブ各位

2005年10月20日
CFA 日本リジョンディレクター 小泉かよ子

ボードミーティング報告 2005年10月1-2日 シカゴ

【事務局から】

【リジョン外のショー申請(日本分)】

ポートランドキャットクラブ(第2リジョン), 2006年6月2-3日, 東京, 承認。

【ベテランとプレミアシップの関係】

プレミアシップとベテランに同時にエントリーできるか。ショールールでは2日間のショーで審査される回数は8回。プレミアシップ6, ベテラン2という審査方法がある。特にショールールを変更せず現行のルール中の制限内で行う。

【登録の間違い等への対応について】

猫を買ったオーナーが登録を忘れており、ブリーダーが繁殖不可で登録した例。オーナーは驚いて修正を申し出た。CFAの方針は、その猫の登録を最初に申し出た者の主張を優先する。気をつけて欲しい。後で修正するにはブリーダーのサインが必要。

【インターナショナルキャットショー】

2005年はサンマテオで開催。日本からの出陳猫のためのマイクロチップブリーダーがISO規格ではない(日本で用意する予定)。2007年はアトランタのジョージアインターナショナルコンベンションセンターを予定。

【会計報告】

リター、猫の登録とも減少している。オーナートランスファーも減少。フリスキーがスポンサーから離れたので、2万ドルの収入源。イヤブックは好調で収益があがっている。

【クラブ申請】

リジョン8, ハッピーアイランドキャットクラブ(代表:阿部勇);認可。インターナショナルディビジョン, チャイナピュアーペットクラブ(北京);認可。シナキャットクラブ(北京);認可。

【ジャッジングプログラムコミッティー】

サンマテオのインターナショナルキャットショーでブリードアウェアネスオリエンテーションとワークショップを開催(旧ジャッジングスクール)。日本からも参加してほしい。ジャッジライセンス更新のためには7年に1度、ワークショップかオリエンテーションに参加する必要がある。

ジャッジが出陳者の会社で働いている, などの場合, 公正なジャッジをする解決法を話し合いたい。

ジャッジングプログラムの変更案。キャットリーネーム登録期間を10年から7年に, 繁殖を7年以上継続していること(現行は10年), 申請するスペシャリ

ティーの最初のリター登録から7年(現行10年), キャットリー訪問, ロングは5回以上, ショートは7回以上のレポート, 日本のトレーニーは米国で2回のトレーニングセッションが必要, ファーストスペシャリティーのトレーニーは2年以内で終了しなくてはならない, その他変更が予定されている。

【クラーキングプログラム】

現在MCI, 25人。MC, 129人。カタログ訂正リクエストフォームを変更の予定。インターナショナルキャットショー前日の木曜にエントリークラーキングスクールを開催したい。

【マネージメントコミッティー】

リジョナルディレクター, ボードディレクターの業務の定義。◆リジョナルディレクターの責務内容:リジョンのクラブ, ブリーダー, 出陳者の意見を聞く, 自分のリジョンの人とのコミュニケーション, リジョナルミーティングの開催, CFAにとってのアンバサダーであること, リジョン, クラブ, 猫の発展をはかる, 議論, 喧嘩の仲裁, 寄付集め, アワードの手配, 支出に細心の注意を, ボードメンバーとしての責任, リジョンコミッティーのチェアパーソンを選出, 期限を守っているかチェック, 新しいクラブが基準に沿って活動できるように指導, リジョンウェブサイトを確認, リジョン電子メールリストの作成, など。

【インターナショナルディビジョン報告】

香港のクラブが中国でキャットショーを開催。エントリー数401頭。エキゾチック135, ブリティッシュSH69, アメリカンカール33, などが出陳され, 来場者は12,000人と盛況であった。中国ではキャットショー, クラーキングスクールなども開催され, 新しいクラブも準備されていて活発である。

【パッケージングスタイルガイド】

CFAの名前を冠した商品に表示するパッケージングのスタイルガイドが配布された。メーカーはキャットフード, ノベルティーグッズなどに有償でこのマークをつけて販促に使うことができる。ユーカヌバ/アイムス, マーズ, ネスレピュリナ, ミャオミックス, グリーニーズなどと交渉中。

【キャット遺伝子バンク】

キャットバンクDNA同定テストが案内された。日本語訳もできる予定。試料(血液)を特殊な濾紙カードにしみこませて送付すると, サテライトDNAマーカーによる遺伝子情報の登録ができる。35~40ドル。個体識別のためのテストで, 遺伝病のテストではない。

親子鑑定や個体識別に応用できるであろう。

【アジリティー】

コース、採点方法、エントリーフォームについての検討が行われた。現在まで16のショーで開催。ロゴマークは猫が走っているデザイン。コースはフェンスで囲われ、管くぐり、スラローム、輪くぐり、ハードル跳びこえ、などがある。ルール作りにはまだ時間がかかると思われる(5人のメンバーで検討中)。1~7リジョンには担当がいる(日本は未定)。

【ピュアブレッドレスキュー】

9月時点で収入13,502ドル、支出11,395ドル。救助費用、里親探しのポスター、パンフレット、シェルターでブリードがわかるためのポスターなどに使用。ポスターを入れて送る筒の費用が馬鹿にならない。

【動物福祉について】

慢性的にARKのような施設に猫をゆだねることを食い止めたい。75頭以上繁殖しているキャットリーを査察する。過去6ヶ月は該当する者なし。庭にゴミが散らばっていないか、臭いが発散していないか、ケージ飼いか自由に飼っているか、猫の頭数とトイレの数は、キャットシッターがきちんと仕事をしているか、シャンプー、グルーミングの部屋があるか、すべての部屋をまわって調査する。

ジャッジの中にも家をきたなくして猫をたくさん飼育している人がいる。現役のジャッジに1年1回の査察を行う。飛び抜けてきれいでもよい。CFAが承認できる範囲であればよい。2回目までは清潔にするようにアドバイスがあるが、3回目も承認が得られない場合には、エクセレンスが得られる状態に改善するまで、プログラムからはずされるので注意が必要。

【倫理委員会】

ジャッジの倫理コード、ドラフトを2006年2月に提出、2006年7月にWebで公示。出陳者倫理コード、2006年2月に計画案、クラブ倫理コード2006年2月に計画案。

【プロテスト】

ある被告は30頭の猫と借家に住んでいた。大家が猫の飼育状況から猫の健康が悪いので、猫を手放すよう言い渡した。猫レスキューが猫の移動をはじめたが、健康状態が悪く、獣医に運ぶ。本人は猫を返せと主張。レスキューは返さない方針。本人は獣医とレスキューの陰謀だと主張。猫も病気でないと主張。ヒアリングを行う。CFAは追放を検討。(査察資料を含む膨大な資料あり)

この他、取り上げられた猫の健康に関するプロテスト案件が3件。ボードで取り上げない劣悪飼育例も多数ある。これらは今後の査察で改善されれば取り下げ。猫の売買に関する健康上の問題が多数。鼻気管支炎や白癬菌(真菌)のトラブルが多数。

動物虐待などの確証のある申し立て、動物福祉団体からの要請などでCFAの査察を申しこんで拒否の場合、CFAのサービスは停止。査察結果が良好

であれば回復される。被告が関係していない獣医による健康診断書の提出を勧める。

【100周年祝賀コミッティー】

[Kay Janosikからの提案]CFA Centennial Cup Challenge (CCC) という特別のプログラムを12月より開始する。

[Liz Watson(CCC議長)からの競技方法の提示]

(1)期間は本年12月から来年4月末まで。米国、カナダでは1ヶ月に2つのショーがCCCのショーとなる。日本リジョンとインターナショナルディビジョンでは4リングがCCCのショーに。(2)キツンについては10回(日本インターナショナルディビジョンは4回)のショーにおいて4~8ヶ月齢の子猫が参加できる任意のショー(意味がよくわからず、訳者注)。(3)CFAに登録した猫に参加資格がある。出陳者はCCCへの参加の意志を明らかにすること(どうやって?訳者注)。(4)ポイントは所属リジョン内でのショー結果のみが積算される。(5)リングというよりショーごとのポイントが蓄積される(とは言うものの、リングの蓄積と同じでは?訳者注)(6)米国とカナダでは10のショーのうち7以上(チャンピオンシップとプレミアシップ)、日本とインターナショナルディビジョンでは3つ以上のショーに出陳する必要がある。(7)キツンには最低の出陳ショー数の要件はない。(8)アジリティーにおいてはスコアリングに特段の規定はない。(9)参加要件を満たした猫のうち、それぞれのカテゴリーの催告得点の猫がウィナーとして決定される。(10)シーズンのさいごのショーの後、ウィナーが決定され、リジョナルアワードバンケットで表彰される。ナショナルアワードにおいてCCCパレードでそれぞれのリジョンのウィナーが紹介される。

【ショールール変更案】

◆展示のみの猫についても野生猫や野生猫の血を引いたハイブリッドはエントリーの資格がない◆2dayショーの2日目にチャンピオン、プレミアで出陳する資格を得るためには、マスタークラークに確認書を提出して受理される必要がある◆1day6リングショーを日曜日にも認める◆メインクーン、ターキッシュアンゴラ、プリティッシュのカラークラスの修正。◆外国でジャッジをする際、通訳が行われるかもしれないが、ジャッジが言った事以外を訳して(しゃべっては)はならない。通訳の個人的コメントをしてはならない。ジャッジについてや、出陳者の事など。ショールールには通訳についての記述はないが、クラークを通訳として使うべきではない。クラークの行う通訳は、出陳者とジャッジの間の情報交換がクラークの仕事として必要な内容に制限されるべきである(本件はショールールではなく、クラッキングマニュアルに入れる予定)。

(翻訳、編集:S.Solenberger, 新本洋士)